

建築人

2024
7

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.721





TDK
250 CASSETTES

大塚駅前第4ビル

CHERRY

六番街

Coca-Cola
飲料系
+11
SANTA
TEL: 3417-2207

六葉
大塚駅前第4ビル TEL: 3417-4502

不動産
売買

株式会社工務店
TEL: 3417-2207

建築人

2024.07 No.721

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「壊と家」2022年

第67回 大阪建築コンクール 大阪府知事賞 受賞作品

設計：建築設計事務所 SAI工房

施工：池正

撮影：山内紀人

北側に地域の歴史を背負っているような母屋があり、道路とは1m程の高低差があった。そこで母屋に配慮し、自然・大地を敬い、地面を掘り起こす基礎形状とする事で、住人が大地と容易に触れられる関係性を作り出した。床レベルを調整し、多様な軒下空間を介して内外を横断する構成と構造が、人と自然の振る舞いを作り出す。

2 大阪浪漫

4 Gallery 建築作品紹介

「大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス 工学系学舎」

設計：KAJIMA DESIGN（基本設計：東畑建築事務所）

施工：鹿島建設

「ギャラリーのある家」

設計：二井清治建築研究所

施工：阿佐建築工務

7 第16回建築人賞発表

11 動静レポート

12 Information

14 Topics

18 記憶の建築

「代官山ヒルサイドテラス」1969～92年

槇文彦の求めたモダニズムの美学と倫理 / 松隈 洋

建築人 No.721 2024年7月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

部門長：田鍋 稔

委員長：松下典史（編集人代表）

編集人：武藤優哉 石上芳弘 荻窪伸彦 河崎太平

昇 勇 橋本頼幸 春岡須磨子

三谷勝章 村上栄司 山本恭史

事務局：隅原正太 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和6年7月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961

大阪浪漫

(1984年・大阪駅南側)

写真・文 喜多 章

大阪駅南側に位置する丸ビルと駅前第四ビルの間
に戦後建てられたバラック群の中に飲食店等が点
在、独特の雰囲気をかもし出していた。いつの日か
このような風景を目にする事も無くなるであろうと夕
景に包まれながら丸ビルからシャッターを切った事
を思い出した。

Gallery





本事業は『大阪公立大学』設立に伴う大阪府立大学・大阪市立大学の集約整備のうち、中百舌鳥キャンパスでの工学部の集約整備事業の一環として実施された。整備内容は工学新棟、新センター棟、流体力学・構造材料棟の3棟の新設をメインに、改修、周辺整備と多岐に亘る。複数棟を同時に計画するメリットを活かし、「つながる」をキーワードにキャンパス全体に波及する「ナカモズテラス」というコンセプトを提案した。「ナカモズテラス」とは開かれたキャンパスとなっていく「しくみ」を示している。この「ナカモズテラス」をきっかけとして学部や学科、そして学年も超えた交流が生まれることを期待している。
(小林啓明/KAJIMA DESIGN)

所在地：大阪府堺市
用途：大学
竣工：2024.03
構造規模：RC造、一部S造
地上7階
敷地面積：465,245.91㎡
建築面積：2,570.05㎡
延床面積：16,270.28㎡
写真：エスエス大阪支店
秋田広樹
※概要は代表して工学新棟を記載
※写真
左上/工学新棟 左下/新センター棟



高齢になっても快適に住み続けられる住まいを建てたいとの依頼を受けて、街とゆるやかにつながる小さな住宅を計画した。

美しく居心地の良い空間を念頭に、住む人が日常の大半を過ごす場と椅子の位置を起点にして、生活の行為に見合った空間のプロポーション、朝の光の入り方と陰翳、内外空間の透け方、風の通り等を細やかに考えて空間を構成した。

また、高齢になり社会から孤立してゆくことを防ぐため、玄関とプライベート空間の間に来客を迎えるギャラリーを設けた。街の気配がゆるやかに伝わり、住まう人と街の人がふれ合いながら共に生きていくことを考えている。

所在地：大阪府豊中市
 用途：専用住宅
 竣工：2024.03
 構造規模：木造
 地上2階
 敷地面積：103.40㎡
 建築面積：61.64㎡
 延床面積：94.63㎡
 写真：母倉知樹

第16回 建築人賞 発表

主催：公益社団法人大阪府建築士会

審査総評

候補となった作品から、建築人賞、建築人賞新人賞、建築人賞奨励賞、建築人賞佳作の各賞を選定した。新人賞は、設計者の年齢が40歳以下の作品を対象として昨年度に新設されたもので、今回も実施することとなった。

この賞の審査を担当するのは、今回で4回目となる。審査のプロセスは、昨年までと同様である。まずは『建築人』2023年1月号から12月号までのGallery欄に掲載された全31作品について、誌面を見て1次審査を行った。この段階で一般部門9作品、住宅部門6作品をセレクトした。

選ばれた各作品の設計者から、追加で図面、写真、設計コンセプトなどをまとめた説明資料を提出してもらい、それをもとに2次審査を行った。一般部門6作品と住宅部門4作品に絞り込み、各部門の授賞対象とした。なお、集合住宅は一般部門に含めている。

選考に残った作品のうち、一般部門については現地を訪れて審査の精度を高めた。住宅部門については、コロナ禍以降は断念していた現地審査の再開を検討したが、まだ時期尚早との判断で、今回も書類のみによる選考となった。

評価の基準もこれまでと基本的に変わらない。建築をさまざまな観点から総合的に評価するが、総花的にそこそこ良い点を稼いだ作品よりも、1箇所でも際立った点を持つ作品を上位に置くようにした。

加えて、建物が建っている敷地の文脈をどのように把握し、それを建築の設計にどう反映させたのかを見定め、評価の

重要なポイントとした。さらに言えば、建築は歴史的な文脈にも乗ったものである。過去をどのように理解し、建築の設計を通じてどのように未来へとつなげようとしたのか。建築史の上で果たしうる役割について、時間的な想像力も働かせて、評価しようと試みた。

まずは一般部門について、審査のポイントを振り返る。2次審査を通過した作品について、場所的な文脈から分類してみると、建物が密集するエリアにあるものが4件で、その内、「同志社大学新創館」と「インダ本社」が京都市内の建築であった。ともに周囲の環境を意識した外観を探りながらも、前者は家型の連棟、後者は低く水平に重なる線のファサードと、異なる対応の仕方を探るが、いずれも興味深いものであった。残りの「堂島実践倫理会館」と「かぜのこ 放課後デイサービス」は、大阪市内にある。一方は大阪駅に近い都心部で、もう一方は町工場が混じる住宅地だが、どちらも都市に対して閉じつつも開こうとする両面性を備えている。

他の作品のうち「あいら齋場悠久の杜」は、里山が迫る都市のエッジに位置する。敷地の広さに余裕がない中で、周囲の自然をうまく利用する。齋場としての機能性を究めながら、慰霊のための象徴空間もしっかりと実現している。

もう1件の「千里グリーンヒルズ竹見台101号棟」は、郊外の住宅団地に建つ。ニュータウンのランドマークとして親しまれてきた高層スターハウスの建て替えで、既存の形状を踏襲しながらも、明快な軸線を通して敷地に新たな文脈を生み

出している。加えて、戦後の集合住宅の一時代を飾ったスターハウスという形式に対して、批評を込めたりデザインを行なっており、集合住宅の歴史をつなぐ作品になるものと考えられた。

この点を高く評価して、「千里グリーンヒルズ竹見台101号棟」に建築人賞を与えるものとした。そして、京都という街に合う、これまでにない都市建築の型を示した「インダ本社」と、都市に埋め込まれる小規模施設の型を示した「かぜのこ 放課後デイサービス」を奨励賞とした。また「堂島実践倫理会館」については、材料や工法を吟味して密度の高い都市建築を達成している点を高く評価し、新人賞の対象となっていることから、これを授与した。

住宅部門については、現地審査を行っていないため、敷地周辺との関係が把握しにくかったが、応募資料からできる限り読み取ろうと努力した。この観点から、小さな住宅であることが周囲の高級住宅街に対する批判的な応答になっている「小箱家」がまず目につき、これを建築人賞に選ぶこととした。次に、オーソドックスな和風住宅の良さを引き継ぎながらも、そこに新しい魅力を加えた「蓮真居」に奨励賞を与えた。また、複数の多様な庭を設けてそれぞれに室内や都市との関係をつくり上げた「芦屋の家」に対して、新人賞の対象となることから、これを授与した。

なお、今回の審査において、応募してくれた設計者と、建物オーナーや管理者の皆さんに、多大なご協力をいただいた。ありがとうございました。



建築人賞新人賞記念盾

ガラスアーティスト 佐久間 靖 作



建築人賞記念盾



審査委員長 磯 達雄

1963年 埼玉県生まれ
1988年 名古屋大学工学部建築学科卒業
日経BP社入社『日経アーキテクチャ』編集部勤務(～1999年)
2001年～ 桑沢デザイン研究所非常勤講師
2002年～ フリックススタジオ共同主宰(～2020)
2008年～ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師
2020年～ Office Bunga共同主宰
2023年～ 早稲田大学芸術学校非常勤講師

建築人賞 千里グリーンヒルズ竹見台 101 号棟

設計：遠藤剛生建築設計事務所

施工：青木あすなる建設

建築位置／大阪府吹田市

敷地面積／11,913.30㎡

竣工年月／2020年9月

建築面積／1,891.64㎡

用途／共同住宅

延床面積／15,976.80㎡

構造・規模／RC造

写真／松村芳治

地上14階

建築人 2023年5月号掲載

【選評】

高層スターハウスの建て替えである。3方向に翼が延びるスターハウスの形状を受け継ぎながらも、一つの翼をツインコリドー形式へと変えた。向かい合わせの2棟からなる吹き抜けの底には、共通エントランスから続く柱廊が通っており、住民はこの強い垂直性を帯びた空間を日常的に味わう。翼間の角度は120°／120°／120°だったものが、135°／90°／135°へと変えられた。これがスターハウスの欠点である住戸同士の視線の交錯も解消している。



建築人賞 小箱家

設計：T-Square Design Associates

施工：ICHI-市川工務店

建築位置／兵庫県芦屋市

敷地面積／177.92㎡

竣工年月／2023年6月

建築面積／41.40㎡

用途／専用住宅

延床面積／81.14㎡

構造・規模／木造

写真／楠瀬友将

地上2階

建築人 2023年12月号掲載

【選評】

作品名の通り、箱形の建物。外観はガルバリウム波板とガラス窓の組み合わせにより、全体が平滑な面で覆われている。階段室のみがアクセントとして飛び出し、その床が延びて玄関の庇に変わる。内部は1・2階とも間仕切りをなくした一室空間で、こちらも使用する仕上げ材料を限定し、巧みなディテール処理で、シンプルさを極める。この家は芦屋の住宅街にあって、周囲の豪邸群と比べれば格段に小さい。だからこそ逆に、凝縮された存在感を放っている。



●目的

公益社団法人大阪府建築士会では会報誌「建築人」を毎月発行しており、2024年4月には第718号を数えました。本会の会員にとって重要な情報提供を行うとともに、建築作品発表の機会を設け、建築技術の普及や会員の相互研鑽に寄与することを目指しています。

「建築人賞」は「建築人」のGALLERY頁に掲載された全作品の中から特に機能性、社会性、デザイン性、先進性などにおいて優れたものを顕彰することで、建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的とし、「建築人」のプレゼンスをより高めていくことを意図して創設された賞です。

●候補作品と審査経過

会誌「建築人」2023年1月から12月のGalleryに掲載された建築作品31点の中から、磯審査委員長に選定頂きました。

昨年創設した40歳以下の若い建築士の方を対象とする『新人賞』候補は、5作品となりました。若い建築士の方々に興味を持って頂く目的で創設した新人賞に、一定の効果があつたことを建築情報委員会として喜んでいきます。

今回も一般部門の作品は、集合住宅から教育系施設、斎場、オフィスまで多様な建物用途があり、現地審査は関西圏に留まらず、鹿児島まで赴いての審査となりました。住宅部門は個人の住まいであり、1件でも現地審査が出来ないと、審査の公平性において全件書類審査となりました。今後は、住宅部門の最終審査に関して、現地審査を行わない前提で審査資料の提出を検討していきたいと考えています。

『建築人賞』は設計者だけでなく、建築主や施工者も表彰の対象となります。建築人賞を通じて、多くの方々に建築やまちに魅力と価値を感じて頂き、建築文化の発展と人々の快適な暮らし創りに繋がることを祈念しています。 建築情報委員会委員長 松下典央

建築人賞新人賞 堂島実践倫理会館

設計／竹中工務店

施工／竹中工務店

建築位置／大阪市北区

竣工年月／2022年12月

用途／研修所

構造・規模／RC造

地上4階

敷地面積／331.23㎡

建築面積／262.02㎡

延床面積／750.75㎡

写真／仲佐 猛

建築人 2023年3月号掲載

【選評】

大阪の都心部に位置し、すぐ近くを高速道路が走る。周囲の喧騒から守るため外側には大きな壁が現れたが、斜めに傾いた特注のせり器質タイルを張ることで、威圧感を抑えた。加えてアルミキャストの外装がL字形に切断面を見せ、内外のつながりも感じさせる。内部はアルミ、しっくい、杉板型枠コンクリート打ち放しなどの仕上げが適材適所で用いられ、自然光の採り入れ方も効いている。材料や工法の吟味によって生まれた、小規模ながら優れた都市建築である。



建築人賞新人賞 芦屋の家

設計／大庭徹建築計画

施工／ヴィーコ

建築位置／兵庫県芦屋市

竣工年月／2022年3月

用途／戸建て住宅

構造・規模／木造

地上2階

敷地面積／282.59㎡

建築面積／112.64㎡

延床面積／158.08㎡

写真／笹倉洋平

建築人 2023年9月号掲載

【選評】

夫婦と子ども1人と2匹の犬のための戸建て住宅。限られたボリュームの中に、音楽室、納戸、DEN、屋上テラスなど、多様な場をコンパクトに収めている。吹き抜けのリビングルームには壁一面に本棚がつけられ、家族の文化的な歴史を見返す鏡となる。5箇所に配された庭は、開口部を通してそれぞれに異なる外部の自然を、室内側へ浸透させる。道路側に対しては閉じているが、前庭を設けて顔を見せる。玄関へと回り込むアプローチも魅力的だ。



実施要項及び経過

●対象作品 会報誌建築人 2023年1月号～2023年12月号「GALLERY」掲載作品31点

●審査 第一次審査(31点から15点選出) 第二次審査(10点選出)

●表彰式 2024年度定時総会・式典 席上 日時／2024年5月22日(水) 会場／KKRホテル大阪3階

●入賞作品

建築人賞

千里グリーンヒルズ竹見台101号棟 2023年5月号掲載

小箱家 2023年12月号掲載

建築人賞新人賞

堂島実践倫理会館 2023年3月号掲載

芦屋の家 2023年9月号掲載

建築人賞奨励賞

かぜのこ(放課後デイサービス) 2023年7月号掲載

インダ本社 2023年11月号掲載

蓮真居 2023年5月号掲載

建築人賞佳作

あいら斎場悠久の杜 2023年2月号掲載

同志社大学新創館 2023年10月号掲載

太子町の家 2023年2月号掲載

建築人賞 設計者に賞状および記念盾を授与、建築主・施工者に賞状を授与

建築人賞新人賞 設計者に賞状および記念盾を授与、建築主・施工者に賞状を授与

建築人賞奨励賞 建築主・設計者・施工者に賞状を授与 / 建築人賞佳作 建築主・設計者・施工者に賞状を授与

建築人賞佳作 あいら斎場悠久の杜



設計/環境技術研究所・Ks ARCHITECTS
施工/キョクヨウ・岩沢組 JV

建築位置/鹿児島県始良市 敷地面積/ 5,826.94㎡
竣工年月/ 2017年3月 建築面積/ 2,156.34㎡
用途/火葬場 延床面積/ 1,972.38㎡
構造・規模/ RC造 地上2階 写真/太田拓実

建築人賞佳作 同志社大学 新創館



設計/日建設計
施工/鴻池組

建築位置/京都市上京区 敷地面積/ 14,365.20㎡
竣工年月/ 2023年5月 建築面積/ 1,153.14㎡
用途/大学 延床面積/ 1,997.78㎡
構造・規模/ S造 地上2階 写真/伊藤 彰(アイフォト)

建築人賞佳作 太子町の家



設計/大西憲司設計工房
施工/笹原建設

建築位置/兵庫県揖保郡 敷地面積/ 243.27㎡
竣工年月/ 2022年12月 建築面積/ 102.64㎡
用途/専用住宅 延床面積/ 91.39㎡
構造・規模/ 木造 平家建 写真/福澤昭嘉

建築人賞奨励賞 かぜのこ (放課後デイサービス)

設計/井上久実設計室
施工/ヒロタ建設

建築位置/大阪市東淀川区
竣工年月/ 2023年5月
用途/放課後デイサービス
構造・規模/ 木造 2階建
敷地面積/ 157.77㎡
建築面積/ 93.39㎡
延床面積/ 122.31㎡
写真/富田英次



【選評】 支援を要する子どもたちのための施設である。周辺は町工場と集合住宅が混じり合う。敷地の広さは限られ、間口は狭い。そこに中庭を挟んだ分棟形式で、3棟の家型が平入りの向きで並ぶ。この形状は子どもにとって「もうひとつの家」のような居心地の良さを感じさせる。また、前面道路に向けて長く伸びた屋根が、雨宿りができる軒下空間をもたらす。都市とつながりを生み、閉鎖的な感じを抱かせない。街に埋め込まれた小さな施設の良さが達成されている。

建築人賞奨励賞 イシダ本社



設計/竹中工務店 施工/竹中工務店

建築位置/京都市左京区 構造・規模/ S造 地上3階 延床面積/ 3,994.88㎡
竣工年月/ 2023年4月 敷地面積/ 2,810.95㎡ 写真/古川泰造
用途/事務所 建築面積/ 1,883.68㎡

【選評】 敷地は京都市街ではなかなか見られない幅広い間口を持つ。これを最大限に活かして、ファサードは庇、ルーバー、手すりなど、水平線の重なりで構成される。平面と断面はL字形のモチーフの繰り返しで、閉じつつ開いた空間が随所に。旧会長の邸宅から受け継いだ庭園への視界を、ロビー、オフィス、会議室などでそれぞれ絶妙に取り込む。低く広がり、庭と一体化した建物は、歴史的都市のオフィスビルとして新しい型を示すものと言える。

建築人賞奨励賞 蓮真居

設計/木原千利設計工房
施工/藤木工務店 倉敷支店

建築位置/岡山県岡山市
竣工年月/ 2020年1月
用途/専用住宅
構造・規模/ 木造
地上2階
敷地面積/ 9,770.10㎡
建築面積/ 263.87㎡
延床面積/ 328.04㎡
写真/真/松村芳治



【選評】 伝統的な材料や工法を採用した本格的な和風の住宅だが、そこにフローリング床のリビングルームや、軽快な鋼製階段などを組み合わせて、現代の住生活で求められる機能性と快適さを取り込んでいる。水平に広がる大きなガラスの開口は、庭の景観を室内の奥深くまで取り込む効果がある。また、如庵の茶室にしか現れないような斜めの壁が、空間を仕切るも同時につながって、プランに意外性をもたらす。和の正統の価値を再認識させてくれる作品である。

動静レポート

会長動静

- 5/27 大阪府建築士事務所協会総会
- 5/28 日本建築士会連合会正副会長会議
- 5/29 日本建築士会連合会理事会
- 5/30 日本建築材料協会・KENTEN表彰式
- 5/31 和歌山県建築士会総会
大阪府建築設計協会総会
- 6/ 3 東大阪市固定資産評価審議会
- 6/ 6 大樹会総会
- 6/ 7 近畿外壁仕上業協同組合総会
- 6/14 京都府建築士会総会
- 6/18 日本建築士会連合会総会・理事会
建築士登録等協議会総会・理事会
- 6/19 理事会
- 6/24 「ウクライナの建築と文化を学ぶ」
- 6/25 健康・省エネ住宅を推進する国民会議、理事長面談

6月度 理事会報告

日時 6月19日(水) 16:00～18:00
場所 本会東会議室
出席 理事 44/47名 監事 2/2名

(1) 入退会の承認

(人)	5月	入会	退会等
正会員	2,196	10	7
準会員	28	0	0
特準会員	21	0	0
賛助会員	143	0	1
計	2,388	10	8

(2) 会計報告

(円)	4・5月計	累計
収入	65,603,912	65,603,912
支出	21,898,048	21,898,048
差引	43,705,864	43,705,864

上表の当期経常増減明細を承認しました。

(3) 大阪建築コンクール応募要項の一部改定

- ①応募者(設計者)を「正会員または府在住もしくは在勤の「建築士」と定義し、
- ②正会員の利益向上と新会員の増強を目的として、応募料を正会員:15,000円、正会員外:45,000円への改定を承認しました。

(4) 全国大会「大阪大会」の改革案
全国大会の在り方について、これまで事業報告や懇親・観光であったものを、将来に繋がる成果の発表や建築士の研鑽に直接的に役立つ勉強会等を構成の中心に置く趣旨で根本的な改革を行いたいとし、主催の連合会の意向を尊重して、主管する大阪の立場で新構成を提案する大会改革の「方向性」を承認しました。

- ・高いレベルの研修プログラムを提供し、同時にCPD制度の推進も図る。
- ・セッションと重複する時間帯でも、開催地を主張した企画(大阪を題材にした研修など)を行う。
- ・大阪会場のメインホール(2700名収容)の午前中のリハーサルは費用効果で不釣り合いな用途であり、全館通して有効な会場利用を図る。
- ・建築士の研鑽企画は、大会テーマ「建築からソーシャルデザインへ」と連動することで大会趣旨がより明確になる。
- ・エクスカージョンの主は万博だが、翌日を利用した体験型の見学研修なども企画する。
- ・大会に付随する「木の建築賞」の在り方を見直す必要がある。

(5) 大会関連事案

①鹿児島大会

大阪ブース、式典、大交流会でのそれぞれの大阪アピールは、実行委員会や一部委員会が主導して企画し、全参加者が協力して遂行します。

②大阪大会

大会協力体制は役員委員に協力を求めることとし、(4)改革案を基盤にして次回理事会に提示します。

(6) 稲山正弘氏の展覧会・講演会

稲山先生の退官記念として、本会が主催、林野庁及び大阪府木材連合会の共催、大阪工業技術専門学校の協力で展覧会・講演会等を10月に開催の予定です。

(7) 行政庁等への協力

- ・茨木市との協定(避難所の応急判定、分譲マンションの適正管理)
- ・大阪府建築行政マネジメント計画策定への青年会員の参画

- ・大阪工業大学「小中学生を対象とした万博に向けた企画」に在阪4団体による協力

市町村公共施設の BIM カルテ管理システムの構築にむけて

府内の市町村が公共施設等総合管理実行計画に基づき、建物施設の管理を恒久的かつ効率的に行うことができるよう、BIMによる施設カルテを提案し、管理システムを構築する検討を始めました。

まずは、提案する資料として、BIM サンプルモデルや施設管理の現状と課題、国・大阪府の動向やインセンティブ、建築士会としての意義・役割、行政のメリット・デメリット、事業化スケジュールなどを4月に整理しました。

5月からは、和泉市(5/9)、吹田市(5/9)、豊中市(5/16)、枚方市(6/21)、箕面市(6/27)、貝塚市(6/28)の6市への提案・意見交換を行いました。施設計画づくりに活用できる、管理者が視覚的に理解してもらうことは効果的、費用対効果を求められる、どこまでの情報をBIM化するか等、各市から貴重なご意見等を頂きました。これらの意見を参考にして、さらに検討を行うとともに、他市町村への提案を展開していく予定です。



本会の耐震診断方法の紹介がNHK番組「あさイチ」で放送予定

7月8日(月)8:15のNHK番組「あさイチ」で、「住宅の耐震化促進」をテーマにして本会の耐震インスペクション委員会による耐震診断方法の紹介が放送されます。番組内では、「耐震診断を受けるための段取りや費用」「自分でもチェックできること」「耐震工事」等について解説される予定です。なお、緊急ニュース等により予告なく変更になる場合があります。

建築士会からのお知らせ

2024年版会員名簿の配布について

今年度も本会会員名簿の配布（無料）は、希望者による申込制とさせていただきます。建築人8月号に同封のうえ発送いたしますので、ご希望の方は7月16日（火）までに本会事務局へメールかFaxにてお名前と会員番号をご連絡ください。
e-mail:info@aba-osakafu.or.jp
Fax:06-6943-7103

【WEB版】確認申請のプロ養成講座 初級編

5/1～7/31 CPD3単位

Point1

なかなか教えてもらえなかった確認申請。その基本を知るだけで、あなたは確認申請のプロと呼ばれる。そんな講座がスタート!

Point2

訂正項目が少なく、審査がしやすい申請図面が作成できれば建築着工も安心!

Point3

常に変化している確認申請の世界。住宅の省エネ適合義務化や4号特例の縮小、そして申請のデジタル化による電子申請などの最新事情がわかる。

★フォローアップ付き!

受講者の皆様には確認申請書の書き方等に関する質問に対応いたします。

(2025年4月30日まで)

★視聴期間中はいつでも繰り返し視聴可能です!

※2024年2月28日に実施した同名の講習会と同内容です。

視聴期間 5/1(水)10:00～7/31(水)終日

配信方法 WEB講習

受講料 建築士会会員6,000円

後援団体会員6,500円

一般7,000円

申込 大阪府建築士会HPより

主催 (一社)近畿建築確認検査協会

共催 (公社)大阪府建築士会

令和6年度 建築士定期講習

7/24、8/23、9/19、10/18、11/20、12/13、1/22、2/4、3/27

CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は令和3年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講義

日程・会場・定員

7/24(水) 大阪YMCA会館 200名

※8/23(金) 大阪府建築健康会館 受付終了

9/19(木) 大阪府建築健康会館 90名

※10/18(金) 大阪府建築健康会館 90名

※2/4(火) 大阪YMCA会館 200名

▼DVD講義

日程・会場・定員

11/20(水) 大阪府建築健康会館 90名

※12/13(金) 大阪府建築健康会館 90名

1/22(水) 大阪府建築健康会館 90名

3/27(木) 大阪府建築健康会館 90名

※の日程 大阪府建築士会が運営

※以外の日程 大阪府建築士事務所協会が運営

注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

時間 9:15～17:00(各講習日共)

受講料 12,980円(消費税含。事前入金)

申込 下記URLよりお申込みください。

インターネット申込みができない方

は、大阪府建築士会HPの定期講習

の案内をご確認ください。

https://www.jaeic.or.jp/gyomu/off_teiki/index.html

令和6年度 監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)

7/26、9/26 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。

日程 7/26(金)、9/26(木)

時間 8:55～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 各回30名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み9,500円

郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(限界耐力計算法)

8/21 CPD4単位

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法です。昨年10月にマニュアルを改訂し、表層地盤の評価方法の変更と、新たな耐震要素の追加を行いました。本講習会で限界耐力計算法の技術を修得され、今後の業務にご活用ください。なお、講習会の修了者名簿は大阪府及び府内全市町村・関係団体等に常備し、耐震診断を希望する建物所有者等からの問合せに活用します。

日時 8/21(水) 10:00～15:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名(定員に達し次第締切)

受講料 会員6,000円 一般8,000円

テキスト代 4,000円

「大阪府 木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル」(2023年10月改訂版)

令和6年度 第11期大阪府ヘリテージマネージャー育成講座(全10日間)

8/24、9/7、9/21、10/5、10/19、11/2、11/16、11/30、12/21、1/18

CPD1日4単位(予定)

本講座は、文化庁の補助を受け、大阪府のさらなる歴史文化遺産を発見し、既に指定されている文化財建造物や登録文化財等の活用と保存を推進し、まちづくりに活かす能力を持った人材“ヘリテージマネージャー”を育成することを目的に行う講習会です。全10日間の講座(講義時間数は例年通り合計40単位)で歴史、修復技術、実測実習、保存活用などの基礎を学びます。

日程 8/24、9/7、9/21、10/5、10/19、11/2、11/16、11/30、12/21、1/18

時間 13:00～17:00

(10/19は10:00～15:00)

(11/2は地域講座11:00～18:00)

定員 20名(申込先着順)

受講料 会員28,000円 一般33,000円

7/8(月)10:00より受付開始予定。申込みは本会ホームページからWEB申込みしてください。

※地域講座は他府県のヘリテージマネージャーも受講可。

※講座詳細は本会ホームページをご覧ください。

既存住宅状況調査技術者講習

新規講習9/11、11/13

更新講習10/9、12/11、3/12

CPD新規各5単位、更新各2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。令和3年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。

▼新規講習(DVD)

日時 9/11(水)、11/13(水) 9:30～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み21,450円

郵送申込み22,000円

▼更新講習(DVD)

日時 10/9(水)、12/11(水)、3/12(水)

13:30～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み17,000円

郵送申込み17,600円

申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。上記以外にオンライン講習も開催いたします。

<https://www.kenchikushikai.or.jp/koshukai/kizonjyutakujyokyochosa.html>

既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(一般診断法)

10/30、12/3 CPD各5単位

本講習会は、大阪府及び府内各市町村の木造住宅耐震診断・改修の補助を受けることができる技術者の養成を目的としています(国土交通大臣登録講習ではありません)。講習会の修了者名簿は大阪府及び府内全市町村・関係団体等に常備し、耐震診断を希望する建物所有者等からの問合せに活用します。

日時 10/30(水)、12/3(火)

10:00～15:50

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名(定員に達し次第締切)

受講料 会員5,000円 一般9,000円

テキスト代 7,300円

「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」

第43回大阪都市景観建築賞 推薦募集

推薦期間7/1～7/31

美しく、個性と風格のあるまちの景観づくりを進めていくために、周辺環境の向上に資し、かつ、景観上優れた建物やまちなみを表彰します。皆様から推薦いただいた建物や建物を中心としたまちなみについて審査し、本賞にふさわしい賞が与えられます。

●対象:大阪府域内の「建物」及び「建物を中心としたまちなみ」を推薦してください。

(建物) 令和元年8月1日から令和5年7月31日までに完成したものの

(建物を中心としたまちなみ) 令和5年7月31日までに完成したものの

受付期間 7/1(月)～7/31(水)

推薦方法 <http://osaka-machinami.jp/>からWEBにより、推薦してください。

※応募の方は、専用書式をHPよりダウンロードしご応募ください。

第2回 防災訓練

「いまからでも始めよう防災と震災対応～南海トラフ地震に備える～」

7/20

南海トラフ地震が差し迫っていると言われて久しいなか、年始に令和6年能登半島地震が起き、改めて防災と震災対応に焦点が当たることとなりました。震災対応の経験をもった建築士の視点から、いまからおこなう防災対策として、大阪府を始め行政がどのような取組を行っているのかを知り防災対策周知を図り、災害に見舞われたときの避難所方法や情報の取得などの対応に必要な知識の習得を目指します。備えあれば憂い無し、一般市民の不安解消と備える心構えの醸成となる講演会です。

日時 7/20(土) 14:00～16:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 50名(申込先着順)

受講料 無料

申込 大阪府建築士会HPより



Informationの詳細及び申込みは本会ホームページに掲載しています。
【大阪府建築士会】 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階
<http://www.aba-osakafu.or.jp/> メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

一級建築士製図試験 受験者応援見学会 7/24 CPD3単位(予定)

一級建築士製図試験は7月下旬に当年の試験課題が発表され10月初旬の試験日までの僅かな時間の中で、受験者は課題の研究を行う難易度の高い試験です。
見学会は今年度試験課題の発表前となりますが、近年の出題課題に共通する『周辺環境への配慮』『バリアフリー』『省エネルギー』『低炭素』といった内容や『各種動線計画』や『ゾーニング計画』そして『設備機器』について実際の建物を通して学んでいきたいかと思えます。
日時 7/24(水) 14:00~17:00
会場 栗原工業株式会社大阪本社
参加費 会員500円 一般1,000円
定員 限定20名(申込先着順)
申込 大阪府建築士会 青年女性委員会

海外研修(上海)報告会 「ヒューデックの世界と現代の上海」 7/26 CPD2単位(予定)

2024年2月22日~26日に訪問した上海の海外研修の報告会を開催いたします。上海租界時代の建築家ラズロ・ヒューデックの作品をはじめ、上海の建築群、古鎮のまちなみなどをスライドで紹介いたします。また2019年に交流協定を結んだ上海市建築学会の表敬訪問、竹中(中国)建設工程有限公司の上海本店訪問の様子も併せて報告いたします。
皆様、奮ってご参加のほどお願いいたします。
日時 7/26(金) 18:00~19:30(終了予定)
会場 大阪府建築士会 東会議室
定員 30名(申込先着順)
参加費 会員1,000円 一般2,000円
学生、大阪府建築士会2023年・2024年度新入会員500円
報告会后、懇親会を開催いたします。
会費 4,000円(予定)

熊取町歴史的建造物悉皆調査 報告会 7/31 CPD2単位(予定)

本会では、令和5年に熊取町教育委員会より依頼を受け「熊取町歴史的建造物悉皆調査」を行いました。この調査は、文化財保護法に基づき「熊取町文化財保存活用地域計画」を作成するにあたり、町内の歴史的建造物(文化財未指定建造物も含む)等の現状把握を目的とするものです。
調査業務は、旧村を中心に建築士である大阪府ヘリテージマネージャーが調査員として臨み、調査シートを作成し報告書としてまとめました。
その調査結果を、実例を交えて報告いたします。ぜひご参加ください。
日時 7/31(水) 18:00~20:00
会場 大阪府建築士会 東会議室
定員 40名(申込先着順)

参加費 会員1,000円 一般1,500円
※詳細および申込みは本会ホームページをご覧ください。

国宝 住吉大社を語る ー最古の神社形式の中の住吉造ー 8/3 CPD3単位(予定)

伊勢神宮の「神明造」、出雲大社「大社造」、住吉大社「住吉造」は、日本最古の神社建築の様式であるといわれています。
今回、これら三つの神社建築の比較も含めて、「住吉造」の建築様式について総合的・学術的な知識にふれてわが町の資産である「国宝 住吉大社」をクローズアップしたいと思えます。
日時 8/3(土) 14:00~17:00
会場 住吉武道館
定員 30名(申込先着順)
参加費 会員2,000円 一般3,000円

広域災害損害調査者が見た 「最大震度7 能登半島からの報告」 8/7 CPD1単位(予定)

地域まちづくり委員会防災分科会では技術的研鑽の為、広域災害損害調査者が見た『最大震度7 能登半島からの報告』を開催します。広域災害損害調査者として、能登半島地震で調査して来てこられた上高原優生氏に、机上ではなく体験から、一級建築士として広域災害損害調査者の視点から報告願ひ、防災について考える機会とします。
日頃聞けないお話をして頂きますので、皆さまの参加をお待ちしています。
日時 8/7(水) 18:00~19:00(受付17:30~)
会場 大阪府建築士会 東会議室
定員 30名(申込先着順)
受講料 無料
申込 大阪府建築士会HPより

大阪・関西万博のユニバーサルデザイン ~障がい当事者が望んでいる事~ 8/26 CPD2単位(予定)

「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマとして掲げられている大阪・関西万博ですが、ユニバーサルデザインの観点から見た会場・施設はどのように進められているのでしょうか。この度、万博のユニバーサルデザインガイドライン検討会に、委員として関わられた車いすユーザーである堀篤子氏に講師を依頼し、障がい当事者からどのような意見が出され、ガイドラインに反映されていったのかについてお話しいただきます。さらに、大阪府担当者から福祉のまちづくり条例について、現在検討中の内容に関する説明もあります。
日時 8/26(月) 18:00~20:00
会場 大阪府建築士会 東会議室

講師 堀 篤子氏(NPO法人ちゅうぶ/万博UDガイドライン検討委員)
参加費 会員1,000円 一般1,500円
学生・新入会会員(入会后1年程度)無料
定員 限定50名(申込先着順)
協力 大阪府
申込 大阪府建築士会 青年女性委員会

~見て、聞いて、触って 防災の大切さを心に刻む~ 津波・高潮ステーション見学会 8/30 CPD2単位(予定)

「海より低いまちおおさか」は、過去にも幾度の自然災害が襲い甚大な被害を受けてきました。
近い将来必ずや大阪を襲うと言われている南海トラフ巨大地震と津波について正しい知識を習得していただき、「見て、聞いて、触って」学び、災害への備えの大切さを心に刻んでいただき、防災の「心がまえ」をしませんか?高潮、津波、地震などのブースや津波災害体感シアター等盛りだくさんの企画となっていますので、ぜひご参加ください。
日時 8/30(金) 14:00~16:00(受付13:45~)
会場 津波・高潮ステーション見学会(大阪市西区江之子島2-1-64)(阿波座駅10番出口 徒歩2分)
定員 30名(申込先着順)
受講料 500円
申込 大阪府建築士会HPより

第66回建築士会全国大会 鹿児島大会 10/25

2024年の建築士会全国大会は、鹿児島で開催致します。大会の詳細は「建築士5月号」をご覧ください。皆さまからのご参加お待ちしております。
日時 10/25(金) 10:00~
会場 宝山ホール(鹿児島県文化センター)鹿児島市山下町5-3
テーマ もえよ!建築維新 たぎる地で築くみらい
※10/24(木) 全国建築士フォーラム、全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会を実施。
※10/26(土) 地域交流見学会(エクスカーション)を実施。
申込 本大会より、Webシステムからの個人申し込みとなります。以下のアドレス又はQRコードからお申込ください。
<https://amarys-jtb.jp/kenchikushi/>
締切 7/26(金)17:00まで



行政からのお知らせ

建築物のライフサイクルカーボン算定ツール『J-CAT(ジェイキャット)』試行版の公開

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、建築物を構成する資材等の製造、運搬、施工、改修、解体に至るまでの建築物のライフサイクル全体において発生するCO2(ライフサイクルカーボン)削減に向けた取組が、欧米を中心に始まっています。
このような動きを受け、我が国においても、産官学の連携により「ゼロカーボンビル(LCCO2ネットゼロ)推進会議」が設置され、建築物のライフサイクルカーボンの評価方法の開発等に取り組まれてきました。
R6.5.16からは、建築物のライフサイクルカーボン算定ツール『J-CAT(ジェイキャット)』試行版が公開されておりますので、是非ご活用ください。
■建築物のライフサイクルカーボン算定ツール試行版を公開しました!(国交省HP)
https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001226.html
■ライフサイクルカーボンの算定手法の構築(国交省HP)
<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001743089.pdf>

その他のお知らせ

第31回プレストレストコンクリート建築技術講習会 7/12

開催主旨 PC建築技術の普及・発展の為
日時 7/12(金) 13:00~17:00
定員 東京会場200名
当日オンライン受講1,000名
オンデマンド受講100名
※いずれも事前登録制
参加費 無料
詳細・申込
一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会
建築委員会建築部会建築広報推進小委員会
<https://www.pcken.or.jp>
e-mail: pc-kosyu@bizgroup.co.jp

正木美術館・正木記念邸見学会と忠岡町街歩き

日程：令和6年6月1日(土)
会場：正木美術館、正木記念邸、忠岡町周辺
参加者：19名

日本で一番小さい町「忠岡町」がいずみ野の街歩きイベントの候補に挙がったのはAIイベントが終わった去年の11月の事でした。建築士の会いずみ野が発足し、1988年に最初に行ったイベントが岸和田市の五風荘の見学会。そこから36年間、北は泉大津、南は岬町まで数々の見学会や研修会をおこなってきました。ところが「忠岡町では一度も実施してないよね」という意見があがり、私としても町への首長訪問、個人的には新浜のテニスコートを使用させて頂いてる事もあり何とか実現できないかと実行メンバーを決めて動き出すこととなりました。まず初めにこのイベントの核となる「正木美術館・正木記念邸」が候補に挙がります。当美術館は水墨画を中心とする日本・東洋の古美術品の収蔵・展示を行っている美術館で館内には国宝3点、重要文化財13点を含む約1300点もの美術品が所蔵されていると

の事。更に正木記念邸は国登録有形文化財に指定されている数寄屋風建築であり、庭園を眺めながら呈茶もして頂ける…これは素晴らしい!当館へ事情を連絡すると快く学芸員さんが展示についてレクチャーしてくれるとの回答を頂き、これでイベントの半分は決まり。あとは街歩きでいくつかある神社仏閣を案内して頂ける人がいれば…との願いを忠岡町役場町長公室、経営戦略課の方々が叶えてくださいました。案内して下さった町職員の方は忠岡の歴史にも精通していてどんな質問にも即座に回答するなど、プロのガイドさんかと思うほど。さらに当日訪問する予定の萬福寺、正覚寺、忠岡神社、常然寺へ事前にお声がけ頂いており、珍しい太鼓門や三代句碑の見学、ためになる住職の法話を聞く事ができ、冷たい飲み物まで提供して頂くなど手厚い対応をして頂きました。

木村隆幸(建築士の会いずみ野 幹事)



「忠岡には何も無いよ」と忠岡町在住の私の知人が言っておりましたが今回の街歩きを通してどんな街にも歴史と温かい人の魅力があるものだ改めて認識しました。今回ご協力頂きました正木美術館、忠岡町役場、それとイベントにご参加頂きました方々にもお礼を申し上げます。最後に忠岡町役場では資格を持った技術職員が不足しているとか。我こそはと思われる方は応募されてみれば如何でしょうか。



建築相談室から(85) 分譲マンションの相談が増える季節

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

分譲マンションの大規模修繕工事は、建築の世界でもひとつの大きな市場である一方で、トラブルやトラブルの種が多い案件でもあります。管理組合や管理会社、コンサルティング会社、施工者など、大規模修繕を取り巻く関係者は、特殊で閉鎖的な世界である事も懐疑的にさせているのかもしれない。本会の電話相談にも分譲マンションの大規模修繕にまつわる様々な相談が寄せられます。特に理事会体制が変わったり、大規模修繕工事が始まる春先から夏にかけてのこの時期に多いようです。

工事金額が適正か?

1) 73戸築50年。2社から1.5億と1.3億の見積が出ていて、高いと思う。相談したい。

2) 9階建て。防水工事を計画しているが、1社は落下防止手すり込みでもう一社より150万円高い。もう一社は独自工法で落下対策はしているといわれた。落下防止手すりは法

的に不要と聞いたが、手すりの有無で発注者として責任を問われることはあるのか?

工事内容が適正か?

3) 築40年。玄関ドアの更新を希望しないのに次の大規模修繕で交換することになりそう。どうしたらいいか?

4) 築年数不明。大規模修繕中。窓枠のシーリング打ち替え工事が終わったとのことだが、隙間が空いているように思う。どのような対応をしたらいいか?

5) 築年数不明。居住者から。大規模修繕工事中。壁のヘアクラックをモルタル色の補修を行っている。これに塗装をしても目立つのではないか?

6) 築13年。大規模修繕工事中でバルコニーの防水工事が始まった。施工者からは防水塗装は1回と言われたが、ネットで調べたところ2回は塗るようになっている。このような防水工事もあるのか?

コンサルタントを探したい

7) 築15年。第1回目の大規模修繕を計画しており、第三者のコンサルタントを探している。現在管理会社主導で修繕箇所の事前調査や施工者選定が進んでいるが善し悪しがわからない。理事会でコンサルタントをいれることを提案したいがどうしたらいいかわからない。教えてほしい。

8) 築13年。大規模修繕のコンサルタント公告を行い4月末に13社から応募があった。どう選定したらいいか検討中でアドバイスが欲しい。

9) 築32年。長期修繕計画について相談に乗ってほしい。金額はどれぐらいか。このマンションは、支払を嫌がる住民が多い。

10) ズバリ。築28年。マンション大規模修繕の相談に乗ってほしい!

こんな相談がマンションから寄せられています。それぞれに切実な思いが伝わります。

安心・安全・快適なモノづくりをめざす

上田茂久

株式会社 上田茂久・建築設計工房
大阪市北区中津1-12-3

DX・GX・SXを通じて社会貢献を!

岡本森廣

株式会社 長田建築事務所
大阪市中央区谷町9-5-28-806

澤本侃一郎

株式会社 K&S総合企画
大阪市西区京町堀2-2-1
(スマタビル10F)

暑中御見舞申し上げます

田中義久

株式会社 田中都市建築事務所
(TANATOSHI DESIGN NET)
大阪市住吉区帝塚山西1-11
A-101

2025大阪関西万博を成功させよう!

徳岡浩二

株式会社 徳岡設計
TOKUOKA SEKKEI MYANMAR Co., LTD.(YANGON)
大阪市中央区本町橋5番14号
(オージービル本町橋3階)
大阪・東京・滋賀・九州

SDGs 人類共有の目標の実践へ

柳川陽文

株式会社 小河建築設計事務所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル6F)

暑中お見舞申し上げます

横田友行

株式会社 能勢建築構造研究所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル)

建築設計事務所 他

大松 敦

株式会社 日建設計
大阪市中央区瓦町3-6-5

人、社会、地球環境との共生

金峰 鐘大

株式会社 IAO竹田設計
大阪市西区西本町1-4-1

夢ある未来の創造

湯浅 武夫

株式会社 阿波設計事務所
大阪市浪速区元町2-2-12

米井 寛

株式会社 東畑建築事務所
大阪市中央区高麗橋2-6-10

渡邊 浩文

公益社団法人日本建築積算協会
関西支部 支部長

大成建設
TAISEI

For a Lively World

執行役員関西支店長 足立 憲治

関西支店：大阪市中央区南船場1-14-10 電話06(6265)4504
本社：東京都新宿区西新宿1-25-1 電話03(3348)1111

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

取締役社長 佐々木 正人

〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1

建材・設備会社 他



CAZARY® ORNAMENTAL HARDWARE
建築用装飾金属設計製作施工

株式会社 **アルテック**

代表取締役社長 加藤 節夫

大阪営業所 〒556-0006 大阪府大阪市浪速区日本橋東1-4-1
TEL 06(6644)6421(代)

<大阪市内最大規模>人気のモデルハウスが 30 棟！

花博 記念公園
ハウジングガーデン
HANA HAKU MEMORIAL PARK HOUSING GARDEN



住所 大阪市鶴見区焼野 1 丁目南 2 番
電話番号 06-6915-3571

主催/ 一般財団法人 大阪住宅センター
後援/大阪府・大阪市・住宅金融支援機構近畿支店



一般社団法人
大阪電業協会

会長 上坂 隆 勇

〒530-0055
大阪市北区野崎町9番8号 永楽ニッセイビル
TEL(06)6363-4077 FAX(06)6363-4079
ホームページ <https://www.osdenkyo.or.jp/>

荷物用エレベーターはクマリフト。

荷物用 人荷用エレベーター (マルチベアー)
小荷物専用昇降機 (コンパクトベアー)
販売 / メンテナンス / リニューアル

業務用エレベーターメーカー
クマリフト株式会社
本社：大阪市西区京町堀 1-12-20
TEL：0120-07-0570
ホームページ：www.kumalift.co.jp

建築・インテリア・土木・造園
建設のすべては、修成で学ぶ

学校法人 修成学園
修成建設専門学校

理事長 山下 裕 貴

〒555-0032 大阪市西淀川区大和田 5 丁目 19 番 30 号
TEL.06-6474-1644

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

大建工業株式会社

大阪市北区中之島 3-2-4
中之島フェスティバルタワー・ウエスト
06-6205-7214

再生可能な100%紙製リング



綴じ具も紙でできているため分別する必要がなく、紙類の資源としてリサイクルできます。卓上カレンダーにも

ネットショップ営業中! <https://chuwa.shop-pro.jp/>

CHUWA 中和印刷紙器株式会社

〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53 TEL.(073)431-4411 FAX.(073)431-8188



一般財団法人
日本建築材料協会
JAPAN BUILDING MATERIALS ASSOCIATION

会長 松本 将

本部 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-23 撞木橋ビル4F

TEL 06-6443-0345 FAX 06-6443-0348

支部 関東・中部・中国・四国・九州

<https://www.kenzai.or.jp>

安心と信頼を共に創るパートナー

一般財団法人



日本建築総合試験所

理事長 川瀬 博

〒565-0873 吹田市藤白台 5-8-1

TEL 06-6872-0391 FAX 06-6872-0784

<https://www.gbrc.or.jp>

学校法人 福田学園



OCT 大阪工業技術専門学校

OHSU 大阪保健医療大学

OCR 大阪リハビリテーション専門学校

理事長 福田 益和

〒530-0043 大阪市北区天満1-9-27

TEL 06-6352-0093 FAX 06-6352-5995

URL <https://www.fukuda.ac.jp>

アルミニウム建築材料 アルミニウム総合商社



安田株式会社

代表取締役社長 安田 誠

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-11-9 長堀安田ビル7F

電話 06(6251)7091 FAX 06(6262)3629

本社 大阪

札幌 北関東 東京 名古屋 大阪 福岡

榎文彦の求めたモダニズムの美学と倫理

代官山ヒルサイドテラス 一九六九〜九二年

文・写真 松隈洋 [神奈川大学建築学専攻教授]

人の生は儚く永遠ではない。この日が来ることは予期していたものの、現実を前に言いようのない寂しさに茫然となる。二〇二四年六月六日、榎文彦氏が老衰のため亡くなられた。享年九五歳。天寿をまとうされたと納得しながらも、最後まで元気に活動されていたので、現役のまま静かに休息を取られたのだと思いたくなる。最後にお目にかかったのは、コロナ禍の続く二〇二〇年十月三十日、榎がデザイン監修を務め、この年の五月に

竣工した横浜市役所のアトリウムで行われた「M meets M」と総称された二つの建築展《村野藤吾展・榎文彦展》の合同オープニング・セレモニーの席である。この展覧会は、村野の手がけた旧庁舎（一九五九年）から新庁舎への機能移転を受けて開催された。残念ながら、出席者全員がマスクを着用し、副市長と榎、村野展に協力した筆者が挨拶するだけのささやかな会となったが、九二歳の榎が元氣な姿を見せ、村野の遺族らと歓談す

東側の今はない歩道橋から見る第一期の外観 二〇一〇年



第十七回日本建築家協会「五年賞」の現地審査で 二〇一七年十月十三日 撮影/田村誠邦



る光景もあった。榎は、挨拶の中で、生前に交流のあった村野に対する敬意の言葉を述べた上で、新庁舎が建つ「みなとみらい地区」の都市デザインとの関わりについて熱く語っていた。その発言に込められた思いは、新庁舎の竣工に合わせて出版された最後の著書『アーバニズムのいま』（鹿島出版会）の「選書」から伝わってくる。「あとがき」には、「アーバニズムに未来があるとすれば、それはヒューマニズムの建築、都市観に基づくものであろうと考えている。（…）過去半世紀以上、ヒューマニズムの建築、都市観は私の建築家としての生涯の中で、つくる、書くという建築家活動の一貫した核であったことは鮮明である。」と綴られる。また、本文は、こう締めくくられていた。

「文化の本質は無償の愛にあるのではないかと感じた。（…）我々建築家に与えられたプログラムは、施主の要求する有償の愛である場合が多い。その与えられた条件の中からいかに無償の愛に近づけるかが、建築家に与えられた社会的責任なのではないかと思う。それがヒューマニズムの建築、ヒューマニズムのアーバニズムの目的なのではないだろうか。」

縁あって筆者は、さまざまな機会にご一緒し、多くの教えを受けてきた。はじめて会ったのは、前川國男事務所に入所した遠い昔の一九八〇年春、二学年後輩の学生だった小嶋一浩らが京都大学に榎を呼ぶ学生主催の講演会を企画し、その依頼にうかがう日本の後見人として同席したのである。榎が京都大学に呼ぶ学生主催の講演会を企画し、その依頼にうかがう日本の後見人として同席したのである。榎

が東京大学教授に就任した翌年だったので、「東大の学生はどうですか」とお聞きしたら、「野蛮な学生がいないね」と笑顔で返された。余談だが、この後、小嶋は原弘司に講演を依頼したことがきっかけで東京大学大学院原研究室に進学し、そこで出会った仲間たちとシラカンスを結成する。榎とは、時を経た二〇〇五年前川國男展、二〇一三年丹下健三展、二〇一四年谷口吉郎・谷口吉生展、二〇一六年大高正人展を通して親しく接する機会が増えていった。

さて、そんな交流を振り返りながら、この著書の結語を読み直すとき、ふたつの出来事に対する榎の「無償の愛」に支えられた行動力と真摯な発言が思い起こされる。一つは、二〇一一年十二月、前川國男の京都美術館の取り壊し問題の最中に、有志で開催したシンポジウムに手弁当で駆け付け、自らの建築が竣工後に遭遇した天国と地獄の運命を、ユーモアを交えて語り、建築が社会で共有されることの大切さを語る姿である。もう一つは、二〇一三年八月、新国立競技場の建て替え問題の際、東京都体育館（一九九〇年）を手がけた経験を元に、風致地区として守られてきた明治神宮外苑の景観を破壊する建設計画に対する異議申し立ての意見表明をした単独の行為である。八五歳の榎がなぜ声を挙げたのか、温厚な人柄からは想像もできない闘志に驚いた人も多かったに違いない。しかし、心の底にあったのは、次のような都市空間に対する願いだった。

「都市のパブリック・スペースとはその場所、規模、性格のいかに関わらず、独りの人間にとって、時に安らぎ

と、また時に感動を与えるものでありたいという願望は常に存在し続けているという認識を放棄してはならない。』（『新建築』二〇〇八年一月号）

同じ文章に、世界各地の都市を訪ね歩いた経験から得た結論として、「独りのための素晴らしいパブリック・スペースとはまた多くの群衆が集まった時にも素晴らしいスペースである」と綴られている。そして、都市が等しく「独りの人間」に居場所を与えるために建築に求められるのは、「優しさ」であると指摘していた。そして、そのことを自らの美学と倫理に基づいて実践したのが、代官山ヒルサイドテラスだったのだと思う。

ここに掲載する写真は、二〇一七年、奇遇にも日本建築家協会「五年賞」の審査員の一人として現地視察した際のものだ。榎が自ら全館をくまなく歩いて案内し、最後は事務所ヒルサイドウエストにも招いてくれた。一九六九年の第一期から一九九二年の第六期と、一九七九年のデンマーク大使館、一九九八年のウエストまで、三〇年及以上持続的な街づくりによって創り出された合計十二棟の群造形の姿を、慈しむように見つめる眼差しに、建築の社会性に対する矜持を感じずにはいられなかった。日本における最初で最後とも思えるアーバン・デザインを志した建築家、榎文彦が守り育てようとしたものとは何だったのか。わずかな時間だが、交流の機会を得た者の一人として、遺された仕事の意味を繰り返し噛みしめながら、少しでも次世代へ伝えられたらと思う。謹んでご冥福をお祈りしたい。榎さん、ありがとうございます。



Indoor Air Quality + Surface

※意匠登録出願中

YMホールディングスが実現した衛生管理トータルサポートにより
安心・安全な屋内空間をご提供いたします

Indoor Air Quality (室内空気質) + Surface (壁面・表面)

Indoor Air Quality: 室内空気質

YMホールディングスが提供する「IAQ+S管理サービス」は、浮遊菌培養結果をもとにして室内空気質を評価し、空気質を維持および改善するサービスを一貫して行います。

機能性コーティング剤: リン酸チタニア

特許技術によって生まれた安全性の高い主成分「リン酸チタニア」を壁面やテーブル・イスなどの備品にコーティングすることで、光がない場所でも年単位で臭気成分の分解、バクテリアやウイルス・カビの増殖抑制など様々な効果を施工面に付与します。

STERIL-AIRE®: 高出力紫外線殺菌灯

高出力なUV-Cを効果的かつ安全に運用/ステリルエアの殺菌灯は特定波長のUVを安定して高出力できます。人に影響がないように安全に設置し、一般的な殺菌方法では処理が難しいバイオフィルムの生成抑制およびカビの成長抑制に効果的です。



株式会社YMホールディングス

URL <https://ym-holdings.co.jp>



土間空間より室を見る。大きな軒下空間が内外横断しながら設えている。



フロアレベルを道路まで掘り下げる事で、高さを抑えたプロポーション。